

人と食の未来をつむぐ

第3期 栗山農業ルネッサンス

守ろう農地 進めよう地域の活性化

現状と課題

1. 高齢化の進展と農地の流動化

- 農村部での高齢化率 36.9%
- 10年後の65歳以上の農業者合計所有面積 1,354ha
- 担い手の少ない地区の農地流動化が課題

2. 農地の受け手不足

- 農業後継者がいない農家比率 55%
- 複数経営体による地域連携農業生産法人化が必要
- 意欲ある新規参入農家の受入推進と農業研修体制の強化が必要

3. 農地の生産性向上

- 圃場区画の拡大や透排水性の改善が不可欠
- 基盤整備をはじめとする土地改良が必要

4. 農村労働力の確保

- 今後の経営課題「雇用労働力の確保」の回答率 39%
- 規模拡大における労働力確保が課題

5. 都市農村交流活動の拡大

- 国産農産物の消費拡大が不可欠
- 農業農村をイメージアップすることが必要

6. 農業所得、農業産出額の向上

- 農業所得向上の方法 「低コスト」「高単収」「高価格」「生産面積拡大」
- 農業者、農産物、農村の持つ魅力を最大限に生かす＝「ブランド化」

振興方向と具体的戦略プラン

『くりやまブランド』の推進

- ①特色ある農産物の生産
 - 安全で安心な農産物生産
 - 多様な農産物と独自の品目を生かした販売
 - 顔の見える販売戦略
- ②魅力のある農村のPR
 - グリーン・ツーリズムの推進
 - 美しい農村風景づくりの推進

地域を担う『多様な人材』の育成

- ①将来の地域農業を担う人材の育成
 - 新規就農者の受入推進
 - 地域農業の担い手育成
- ②地域を守る組織の設立と育成
 - 地域連携農業生産法人化の推進と育成
 - 集落営農組織等の育成
- ③営農支援
 - 国や道からの各種支援情報等の提供
 - 農業労働力確保に向けた支援

農地有効利用と土づくりで『農地を守る』

- ①農地の効率的かつ全面的な利用
 - 農地利用集積円滑化事業の実施
 - 遊休農地等の再生化推進
 - 農業経営継承事業の推進
 - 新規参入者への支援
- ②円滑な農地流動の促進
 - 農地流動化等意向調査の実施
 - 農業地図情報システムの運用と活用
- ③圃場整備・土づくりの推進
 - 低コスト圃場整備への支援
 - 土地改良事業の推進
 - 土づくり対策の推進
- ④鳥獣害被害防止対策の推進
 - エゾシカ防護柵の維持
- ⑤異常気象による農地災害の復旧支援
 - 国等の大規模災害復旧事業に採択されない農地の災害復旧への支援

栗山町が目指す地域の姿

- ①地域の特色を活かした魅力ある農業経営の確立
- ②安全安心で良質かつ付加価値の高い農産物づくり
- ③豊かで潤いのある栗山ならではの農村空間の醸成
- ④栗山を拓いた先人の思いを未来へ引き継ぐ人づくり

農村を守る地域営農システム

- 集落営農型
- 地域全体が集まった営農システム
- 地域連携農業生産法人型
- 3戸以上の農家が統合した営農システム
- 個人完結型
- 個別の農業経営規模拡大・集約するタイプ
- 経営継承・新規参入型
- 第三者経営継承または新規就農する営農タイプ

活性化



■今後の農業経営目標指標

1	平均面積での水稻・小麦	12ha	8,399千円
2	大規模化した水稻・秋小麦	20ha	13,352千円
3	玉葱・秋小麦	12ha	28,458千円
4	水稻・秋小麦・玉葱	20ha	28,020千円
5	水稻・秋小麦・大豆	20ha	9,639千円
6	水稻・秋小麦・大豆	30ha	11,867千円
7	水稻・秋小麦・露地野菜	20ha	19,295千円
8	水稻・秋小麦・施設野菜	20ha	19,749千円
9	水田作+畑作	20ha	15,756千円
10	3戸による地域連携農業生産法人	60ha	46,943千円 (1戸あたり15,648千円)
11	新規参入	2ha	8,089千円
12	和牛繁殖	34.5ha	15,082千円